高校女子サッカー選手権大会

決勝戦戦評

決勝戦　本庄第一２－０（１－０，１－０）南稜

得点者：本庄第一　5分⑩宮井ＨＳ(アシスト⑤飯田)

　　　　　　　　 53分⑥知久（Ｓ）

　立ち上がり、キックオフから本庄第一が大きく蹴って攻め込み、前半5分右サイドＣＫ(⑤飯田)から⑩宮井がヘディングで押し込み、本庄第一が先制。その後、南稜が中盤アンカーの⑤田中を中心に、中盤で激しいプレスをかけ、奪ったボールを前線で⑧君塚が受け、中盤の4人が良い距離でサポートしチャンスを作る。20分以降は、⑬斉藤のＣＫでチャンスを作るが、本庄第一の固い守備を崩すことはできない。一方本庄第一は、⑨成澤を高い位置で起点にし、⑪横山⑭佐藤⑩宮井のスピードを生かしたドリブル突破を図るが、南稜も粘り強く対応し、チャンスを作らせない。

　後半も立ち上がりから南稜がペースを作り、40分には、⑧君塚が中央へうまく抜け出したところにパスを合わせチャンスを作るが、本庄第一のＧＫ小池の好セーブでＣＫへ逃れる。

　その後も、ＣＫ，ＦＫと南稜がチャンスを作るが決めきれず、徐々に本庄第一が大きなボールを相手ゴール前に蹴り込み、そこへ人数をかけて波状攻撃を仕掛ける。そして53分南稜守備のクリアが中央でこぼれたところを、本庄第一⑥知久が思い切り良く20ｍ近いミドルシュートを決め２－０とリードを広げる。その後も南稜、本庄第一とも集中したプレーが続きそのまま２－０と本庄第一が勝利をおさめ、12回目の選手権大会優勝となった。